

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

1) 定員設定の考え方

2027（平成 39）年に創設 100 周年を迎える立命館大学文学部（以下、「本学部」という）は、これまでの歩みのなかで、人間の営みのすべてにかかわる学である「人文学」の、伝統的な学問分野を尊重しつつも、新しい学問分野と新たな学び方の開拓にも積極的に取り組んできた。

本学部の定員は、以下に述べる、社会的ならびに政策的動向、私立大学の当該分野を取り巻く一般的な志願状況、本学部の当該分野の志願状況、独自に行った高校生などへのアンケート結果、および教育研究の充実の観点から、2020 年度（平成 32）年度から入学定員を 55 名増員して 1,035 人、収容定員 4,140 人とした。

入学定員および収容定員の設定にあたっては、以下の 2) にその根拠を示すとともに、次頁イにおいては、客観的データとして、本学部が独自に実施したアンケートの分析結果を述べ、これらの定員充足の見込みを前提として、募集人数の妥当性と受験生確保の見込みを総合的に勘案した。

2) 定員充足の見込み

本改革の背景をなす社会的ならびに政策的動向としては、大学教育において、一層の国際化の実践が求められている点を挙げなければならない。特に立命館大学は、文部科学省が 2009（平成 21）年度以降進めた、国際化拠点整備事業（グローバル 30）、また 2014（平成 26）年度以降は、スーパーグローバル大学支援事業に採択され、その社会的使命はきわめて大きい。なかでも本学部は、この間、教育の国際化に特に注力し、教学・研究のグローバル化を進めてきた実績を持つ。その成果の具体例が、エリアスタディ実習等の海外実習プログラム（中国、韓国、マレーシア、シンガポール、イタリア、アメリカ、カナダ等で展開）である。なかでも、キャンパスアジア・プログラムは、本学部教学国際化の象徴であり（2017（平成 29）年 3 月にあった「文部科学省 平成 23 年度 大学の世界展開力強化事業」の事後評価では最高の S 評価を獲得）、2017（平成 29）年度からは教育の質的進化を伴う常設の国際プログラムとして再始動した。今次の 2020（平成 32）年度改革においては、こうした成果を踏まえつつ、さらに一層の(i)国際化の推進、(ii)学部横断型の学びの強化、を掲げ、(i)の主要な柱として、「国際コミュニケーション学域」の新設（半数の科目が英語開講、高度な英語コミュニケーション能力を持つ人材の養成、小学校での英語必修化に対応した高いレベルの英語科教諭の育成）、「言語コミュニケーション学域」の新設（日本語教員養成プログラムの強化、日本語を学びたい留学生の受け皿）を策定した。今日求められている国際化とは、「国際コミュニケーション学域」の中核をなす英語学習、「言語コミュニケーション学域」の中核をなす日本語教授、の両輪によって実現すると考えられ、その実践こそが国際的発信力の強化へとつながるはずである。また本学部の教育が国際観光都市・京都を拠点として行われ

ることは、このことの実現にとって、非常に大きな強みになると考えられる。

次に、私立大学の当該分野を取り巻く一般的な志願状況から述べる。直近の予備校調査によれば、2018(平成30)年度の私立大学の志願者数は、2017(平成29)年度の3,379,352名から、前年比107%の3,632,149名へと増加し、学部別では文系の人気が高く、文・人文学部系で前年比110%、社会・国際学部系で111%、法学・政治学部系で106%、経済・経営・商学部系で112%となっており、私立大学文学部は全国的にも堅調を維持している(資料1)。ところが2019(平成31)年度入試の動向については、2018(平成30)年10月時点で、前年度の同一模擬試験比で私立大学志願者が96%と微減傾向にある現況が、予備校によって開示されている。ただし、そうした中でも、文・人文学部系に関しては、前年比97%と健闘し、社会・国際学部系の96%、法学・政治学部系の96%、経済・経営・商学部系の94%を上回る数値を示している(資料2)。このように、文学部へのニーズは、世相や流行の高下に影響されない安定性を保っており、競合する国際学部系もほぼ同傾向であることから、国際化を前面に打ち出した今次の本学部改革は、私立大学の志願状況の観点からも、十分な条件のもとにある、と考えられる。

次に本学部の当該分野の志願状況であるが、まず一般入試の志願者動向を、競合する近隣私立大学、また私学事業団調査と比較すると、2014(平成26)-2018(平成30)年度の過去5年間において、募集人員の11倍を超える10,681~11,233名という、十分な志願者数を安定的に確保してきている(資料3)。すでに述べた通り、全国的に文学部の志願者数はいずれも増加傾向を示しており、本学の潜在的な志願者も同様に増加していることが予測され、2020(平成32)年度の志願者確保は現状以上が期待できるといえる。さらに留学生についても、2018(平成30)年度より日本語能力試験の基準を厳しくしているにもかかわらず、志願者は2014(平成26)年度63名、2015(平成27)年度112名、2016(平成28)年度78名、2017(平成29)年度128名、2018(平成30)年度120名と堅調に推移している。

以上のことから、従来より入学定員を55名増員しても、問題なく定員充足可能と考える。

なお、新設のグローバル教養学部グローバル教養学科(入学定員100人)において定員超過率が0.7倍未満となっているが、同学部の入学定員は9月入学の募集人員を含むためであり(ただし学期ごとの入学定員は設けていない)、安定的な学生確保の見通しがあることから、定員設定は適切である(「立命館大学グローバル教養学部設置届出書」平成30年5月29日参照)。

また、国際関係学部国際連携学科(入学定員25名)も定員超過率が0.7倍未満となっているが、同学科も学期ごとに定員を設けずに9月入学の募集人員を含み、同様に安定的な学生確保の見通しがあることから、適切な定員設定となっている。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

前述の通り、過去5年間における一般入試の志願者数は、最低でも10,455名となっており、入学定員を980名から1,035名に増員しても、定員充足それ自体に疑問の余地はないが、今次の文学部改革が志願者動向にいかなる傾向をもたらすかを調査すべく、新設学域に関して本学部独自のアンケートを行った(資料4、資料5)。これは、2018(平成30)

年8月4・5日に実施したオープン・キャンパスにおいて、文学部企画の参加者のうち、高校生2年生を対象として実施したものであり、以下その概要を示す。

まずは興味のある文学部の学域について、全回答者266名のうち76名(28.6%)が現・コミュニケーション学域に「興味がある」と回答した。2020(平成32)年度新設される国際コミュニケーション学域及び言語コミュニケーション学域については、それぞれ、国際コミュニケーション学域で「興味が湧く」「やや興味が湧く」と回答した人は137名(51.5%)、言語コミュニケーション学域で「興味が湧く」「やや興味が湧く」と回答した人は167名(62.8%)であった。

いずれの学域においても、現コミュニケーション学域に「興味がある」と回答した人数よりも多い人が「興味が湧く」「やや興味が湧く」とポジティブな回答をしており、これまでコミュニケーション学域に関心のなかった層についても、新たに取り込めることが期待される。

総じて今後の新学域開設は、最終的に両学域を希望して志願する者にとどまらない、本学部の新しい教学展開自体への期待を喚起しているものと考えられる。今後の広報活動により、さらなる志願者数の拡大も可能であり、定員充足の見込みは疑いないと考えられる。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

ア 2018(平成30)年度における取組

今次の文学部改革では、「国際化」と「コミュニケーション力の強化」を推進することから、文学部の掲げるコンセプトや教育プログラムを国内外に分かりやすく広報することが重要である。

この広報活動を進めるにあたり、本学の入試広報を実施する入学センター、一般的な学園の広報を実施する広報課と連携して、下記の取組みを実施した。

- (ア) 附属校、高大連携協定校を中心とする学部紹介・説明会を実施。質問の多くは留学やキャンパス・アジアへ向けられたもので、国際化への関心の高さを確認できた。
- (イ) 前述の通り、本学オープン・キャンパスでのアンケートを実施。

イ 2019(平成31)年度における取組予定

2018(平成30)年度の広報活動と同様に、学内関係部署との密接な連携のもとに組織的な広報活動に取り組む。大学案内パンフレットや大学の入試サイトへの掲載、ホームページのさらなる充実を図る。関連部課と緊密に連携しながら、本学部の開設準備に関わる教職員も積極的に行動し、2020(平成32)年度入学者確保に向けた以下のような取組みを行う。

(ア) 国内外のPR活動

a) 国内

本学入学センターと連携して広報活動を計画している。個別の高校訪問や、各種の入試説明会に参加し、学生確保を目指す。中でも、特にターゲットとなる高等学校・日本語学校については、学生確保に向けた高校との連携が必須のため、できるだけ早い段階から働きかけを行う。

b) 国外

英語版ホームページの拡充を行う。世界 67 カ国・地域の 450 大学・機関（2018（平成 30）年 5 月 1 日時点、資料 6）におよぶ、本学の協定校・機関のうち、本学部と関係の深い大学・機関との連携を密にしながら広報を進める。

(イ) 附属校との高大連携

各校の教員と連携しながら、新高校 3 年生を対象とした入試説明会に加え、生徒の保護者・教員を対象とした説明会を開催し（前年度の開催日程は、資料 7）、本学部に対する理解を全体的に深めながら、学生確保を目指す。2020（平成 32）年度以降の入試については、入試と連動した高大接続教育の可能性を検討する。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

2020（平成 32）年度文学部改革に合わせ、2020（平成 32）年度からの本学部の人材育成目的、教育目標及び 3 ポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を、学部改革にも合致する形での修正を行い、各専攻のカリキュラム・マップおよびカリキュラムツリーを作成した。

本学部の新しい人材育成目的は、以下のように定めている。

文学部は、人文学の諸分野の教育研究を通じて、世界の様々な文化や人間についての幅広い知識を身につけ、広い視野のもと、人間や社会が抱える問題の究明・解決と、世界の発展に主体的に貢献できる人材を育成することを目的とする。

また、本学部の具体的な教育目標は、下記の通り設定する。

- (1) 人間や世界の様々な文化について幅広い知識を身につけ、人文学の方法論を用いて理解をすることができる（知識・理解）
- (2) 現代・過去の社会や文化に対して多面的な関心を持ち、自らの見解を形成できる（思考・判断）
- (3) 個人や文化の多様性を認め、社会の一員として行動できる（思考・判断）
- (4) 人間や文化について関心を持ち、自らの力で課題を設定し探求する意欲を持つ（関心・意欲）
- (5) 現代社会が抱える問題に対し、大学で学んだことをもとに主体的に解決しようとする態度を持つ（態度）
- (6) 自分の調査・研究の結果や、それらをふまえた自己の見解を、口頭あるいは文章や制作物の形で表現することができる（技能・表現）

以上を踏まえ、今次の改革で新たに予定している学域の人材育成目的・教育研究上の目的は、以下の通りである。

(i) 国際コミュニケーション学域

国際コミュニケーション学域では、現代社会が持つ根源的な問いに対する答えを模索し、将来の世界を牽引する人材となるための知識や技能を身につけます。英語圏の

文化と言語に関する諸科目や、それらと連携した学術英語（EAP, English for Academic Purposes）科目、短期・長期留学プログラムなどを通して、体系的な四年一貫教育を受けることができます。現在の国際社会において大きな影響力を保持している英語圏の文化に関する豊かな見識と英語に関する知識を身につけ、高い英語運用能力を養うことによって、将来、日英両言語を駆使しつつ広く国内外で活躍できる人材の育成を目指します。

国際コミュニケーション学域は従来の欧米地域に限らず広く英語圏を視野に入れ、その言語と文化に関する専門的科目を置き、短期・長期の海外プログラムを充実させることにより、グローバルに活躍できる人材の育成を目指す。特に 1 回生時から英語開講科目や英日バイリンガル科目を開講し、海外プログラムや英語関連資格課程と合わせて、英語で研究・発信できる人材の育成を目指す。この学域には、英語圏文化専攻と国際英語専攻が設置される。専攻名称が示す通り、前者は広く英語圏の文化と社会について学ぶことにより、英語によるコミュニケーションの充実を図ることを企図しており、後者は、共通語としての「国際英語」を前面に掲げて応用言語学に基づく教学を展開する。それにより英語教育に必要な知識と技術を養うことで、将来の中学校・高等学校教員の育成に寄与する。

(ii) 言語コミュニケーション学域

《言語コミュニケーション学域》は、「コミュニケーション表現専攻」と「言語学・日本語教育専攻」の 2 つの専攻で構成されます。学域名称に掲げる「言語コミュニケーション」とは、皆さんがイメージする狭い意味でのことばのコミュニケーションだけを指すものではありません。英語や日本語などの個別言語に閉じることなく〈ことば〉の普遍的性質を明らかにする方法論としての「言語学」、そしてことばを用いてヒトが他者との共通基盤を生み出し、個々の〈やりとり〉を元に自己と他者との〈かかわり〉を創発し共生社会の実現を可能にしていくことを可能にするための方法論としての「コミュニケーション学」、の 2 つの基幹教学を貫くキーワードです。こうした観点からこの学域では、「コミュニケーション・音声表現」「言語表現メディア」「言語研究」「日本語教育」「異文化間コミュニケーション」といった、広くことばとコミュニケーションにかかわる様々な分野を学び、各人が関心を持った具体的な研究テーマについて分析や実践を究めることで、研究と実践の双方向的な学びを実現することを目指します。修学を終え、無事に卒業できた頃には、現代社会で生き抜くことのできる真の「コミュニケーション能力」を身につけることができるでしょう。

言語コミュニケーション学域は、言語学とコミュニケーション学というディシプリンを土台として、ことばとコミュニケーションについて専門的に学び、現代社会において生き抜くことのできる真のコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目指す。ここには「コミュニケーション表現専攻」と「言語学・日本語教育専攻」が設置される。前者では組織・医療・スポーツなどの専門職コミュニケーションやことば・身振り・メディアといった領域を設定し、コミュニケーションという現象の膨大な対象を専門的に分節化した上で実践知を獲得する教学を目指す。後者の専攻では、コミュニケーションの学問的基礎としての言語学に照準し、その専門性に基づいて日本人及び外国人の日本語教育と異文化間コミュニケーションという、資格と実践に結び付く教学を進める。なお、言語コミュニケーション学域に所属する

学生の進路先として、言語教育情報研究科も想定される。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ア 社会的・地域的な人材需要の動向

実社会において「コミュニケーション能力」が最重視される時代に入った。俗に言う「コミュカ」の時代である。文化庁が2016（平成28）年度に実施した「国語に関する世論調査」が「コミュニケーション能力」を対象としたのも、それゆえであろう。一般的に就職と直結しない学問分野と見られがちな文学部の学生が、本学にあっては実学系の他の文系学部と遜色のない、89.3%という高い進路決定率を維持できているのは（2017（平成29）年春、資料8）、ディプロマ・ポリシーに「人文学を教育研究し、人間や世界の様々な文化について、幅広い知識と豊かな表現力を身につけ、人間と社会が抱える問題を究明し解決しようとする人間を育成すること」を掲げて必修の卒業論文に取り組みさせているからである。論文をまとめ上げる過程で、情報収集能力、情報分析・問題発見能力、課題設定能力、問題解決能力、論理的思考・説明能力など、社会人として必要な「知の基礎体力」を自然体で身につけることが、本学部生のコミュニケーション力の源泉となっており、実社会でのニーズと良好なマッチングが得られていると考えられる。

新時代の到来という点では、いよいよ小学校での英語必修化の時代に入った。2013（平成25）年5月、「教育再生実行会議」第3次提言に「小学校の英語学習の抜本的拡充、実施学年の早期化、教科化、指導時間増」が盛り込まれ、同年12月、文部科学省は初等中等教育段階からのグローバル化に対応した教育環境作りを推進すべく、小中高等学校を通じた英語教育改革を計画的に進めるための「英語教育改革実施計画」を公表した。そして、これらの計画のもと、2017（平成29）年3月告示の「新小学校学習指導要領」において、小学校中学年に外国語活動、高学年に外国語科が導入された。小学校における英語必修化の動きは、疑いもなく次世代の英語力アップをもたらすであろうが、それを国際社会で通用するコミュニケーション力へと鍛錬することは、まさしく高等教育機関である大学の責務である。今次の本学部の定員拡充は、こうした人材需要に対応するためのものである。

すでに本学には、初級で12ヵ国地域18プログラム、中級で7ヵ国地域11プログラム、上級で30ヵ国地域133プログラム、期間にして2週間から2年間まで、学生の志向に応じた多彩な海外留学プログラムが用意され（資料9）、本学部独自のものとしても、1週間から1セメスターまでの6ヵ国地域12プログラムを用意しているが（資料10）、カナダ留学中に世界でも類を見ないギンダラの養殖を成功させ、輸出を試みるプロジェクトでのインターンシップに参加して総合商社への就職につなげたり、地域観光をテーマに国際学会で発表し、研究対象地の抱える農地の獣害問題を解決する支援活動で、地域の方々からいただいた「ありがとう」の言葉に達成感を得たことを、就職先の選択につなげるなど、在学中の留学や海外経験をライフ・デザインへと結実させた例が多く見られ（資料11）、「国際化」と「コミュニケーション力強化」を目指す本学部の定員拡充は、こうした動きを一層推進していくためのものである。

一方、日本で学ぶ留学生も増え続けている。周知の通り、1983（昭和58）年に策定された「留学生10万人計画」は2003（平成15）年に達成され、つづいて2008（平成20）年7月、文部科学省ほか関係省庁は、日本を、世界により開かれた国とし、アジア、世界の間

のヒト・モノ・カネ、情報の流れを拡大する「グローバル戦略」を展開する一環として、2020（平成 32）年を目途に、新たに「留学生 30 万人計画」を策定した。同計画のもと、2018（平成 30）年 5 月 1 日現在の留学生数は 267,042 人となっている（資料 12）。この計画が遂行される過程で、目下、高等教育機関で学ぶ留学生のみならず、日本語教育を必要とする外国人労働者やその子弟が急増し、日本語学校や初等・中等教育段階での日本語非母語話者への日本語教育に、積極的に取り組む必要性が急務となっている。

また文化庁は、2018（平成 30）年 3 月に「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）」を公表し、2000（平成 12）年の「日本語教育のための教員養成について」提示以来 18 年が経過していることから、大学等における教育・研究の進展や社会情勢の変化に対応できていない、等の諸課題に対応すべく、「日本語教育人材に求められる資質・能力」「日本語教育人材の養成・研修の在り方及び教育内容」を掲げ、改革に着手した。「日本人及び外国人の日本語教育」を重点的に掲げる今次の本学部改革は、このニーズに対応するものである。

教育分野の人材拡充という点では、もちろん、能力の高い中学・高等学校の英語担当教員の需要も依然として高い。文部科学省は、2003 年に策定した「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」において示した各目標の達成状況についての調査を実施し、その後も 2013（平成 25）年 6 月閣議決定した「第 2 期教育振興基本計画」で示された、中学生・高校生の英語力や英語担当教師の英語力の評価指標に基づき、継続的に「英語教育実施状況調査」を実施してきている。今次の本学部改革は、この動向に対しても積極的に応え得るものとした。

イ 企業・関係機関等への採用意向調査等の客観的データ

今次の本学部改革の強化ポイントである「コミュニケーション力」の要請について。2018（平成 30）年 11 月、一般社団法人 日本経済団体連合会（経団連）が企業会員を対象に行った「2018 年度 新卒採用に関するアンケート調査結果」（回答社数 597 社）によれば、新卒採用市場において、選考にあたって特に重視した点として、82.4%の企業が「コミュニケーション能力」を挙げ、16 年連続第 1 位となっている（資料 13）。

また、前述の 2016（平成 28）年度「国語に関する世論調査」（一般社団法人中央調査社に委託された個別面接調査、有効回答数 2,022 人）によれば、「これからの時代、特に必要だと思う言葉に関わる知識や能力は何か」という設問に対し、「説明したり発表したりする能力」が 20.7%、「相手や場面を認識する能力」18.9%、「論理的に考える能力」10.7%、「分析して要点をつかむ能力」9.8%が上位を占め、いずれも 2002（平成 14）年度の調査より 3 ポイント以上増加している（資料 14）。

今次の本学部改革のもう一つの強化ポイントである「国際力」については、本学部として人材育成に注力している、日本語教師、英語担当教員の採用状況について述べる。

まずは日本語教育について。「国内の日本語教育の概要」（2017（平成 29）年度版）によれば、2017（平成 29）年 11 月現在の日本語学習者は 239,597 人とされるが、これに対する日本語教師は 39,588 人に留まっている。しかも、日本語学習者の増加ペースに日本語教師の増加率が追いついていないだけでなく、日本語教師のじつに 57.2% をボランティアに依存していることが確認される（資料 15）。有給の日本語教師の不足については、上

記の客観的データに明らかであり、「日本語教師の約 59%[原文ママ]がボランティアの限界——在留外国人の日本語教育担い手不足懸念」として、2018(平成 30)年 3 月 13 日の YAHOO! JAPAN ニュースでも大きく報道された。

他方、能力の高い英語担当教員について。中学校 9,405 校、高等学校 3,369 校を対象とした、文部科学省の 2017(平成 29)年度「英語教育実施状況調査」によれば、英語担当教師のうち、実用英語技能検定(英検)準 1 級、TOEFL iBT 80 点、TOEIC 730 点以上など、外部試験で国際基準 CEFR(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment) B2 レベル相当以上のスコアを取得している者は、中学校で 33.6%(資料 16)、高等学校で 65.4%(資料 17)となっている。いずれも調査が開始された 2013(平成 25)年度以降、順調に伸びてきているものの、「第 2 期教育振興基本計画」の目標値である、中学校 50%、高等学校 75%にはいまだ到達していない。したがって高い英語力を備えた英語担当教師の、一層の採用が求められていることが、客観的データに明らかである。

以上

<添付資料>

- 資料 1 2018 年度入試を振り返る～私立大 全体概況
- 資料 2 第 3 回全統マーク模試にみる 2019 年度入試の動向
- 資料 3 文学部一般入試の志願者動向
- 資料 4 新学域構想についての高校生・受験生アンケート調査票
- 資料 5 新設構想についての高校生・受験生アンケート調査結果
- 資料 6 立命館大学 協定校・機関
- 資料 7 2018(平成 30)年度附属校企画日程
- 資料 8 立命館大学 2017 年度 進路決定状況
- 資料 9 全学募集プログラム
- 資料 10 各学部・教学機関の留学プログラム
- 資料 11 卒業生・採用企業の声
- 資料 12 平成 29 年度外国人留学生在籍状況調査結果
- 資料 13 2018 年度 新卒採用に関するアンケート調査結果
- 資料 14 平成 28 年度「国語に関する世論調査」の結果の概要
- 資料 15 平成 29 年度国内の日本語教育の概要
- 資料 16 平成 29 年度英語教育実施状況調査(中学校)の結果
- 資料 17 平成 29 年度英語教育実施状況調査(高等学校)の結果

1. 書類等の題名
「卒業生・採用企業の声」 9 ページから 11 ページ
2. 出典 河合塾 Kei-Net ホームページ記事
2018 年度入試を振り返る 私立大 全体概況
3. 引用範囲
https://www.keinet.ne.jp/dnj/result/18bunseki_03.html (全文)

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類 資料」12 ページから 13 ページ

2. 出典 河合塾 Kei-Net ホームページ記事

第3回全統マーク模試にみる 2019 年度入試の動向 私立大全体概況

3. 引用範囲

https://www.keinet.ne.jp/dnj/19/bunseki/03/19bunseki_02.html (全文)

資料3 文学部一般入試の志願者動向

	立命館大学	同志社大学	関西大学	私学事業団調査※
2014年度	11,233名	4,050名	10,073名	281,937名
2015年度	11,513名	3,671名	10,408名	283,368名
2016年度	10,871名	3,712名	9,033名	287,498名
2017年度	10,455名	4,305名	9,792名	305,973名
2018年度	10,681名	4,375名	10,707名	337,616名

※日本私立学校振興・共済事業団が「私立大学・短期大学等入学志願動向」として毎年公表している約580校の集計結果。

国際コミュニケーション学域／言語コミュニケーション学域

新設構想についての高校生・受験生アンケート調査

(対象：2018年度現在、高校生の皆さん)

立命館大学文学部は、2020年4月、「国際コミュニケーション学域」と「言語コミュニケーション学域」の新設を構想しています。このアンケート調査を通して、大学進学を希望する高校生・受験生の皆さんから意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えています。回答いただいたデータは、「国際コミュニケーション学域」および「言語コミュニケーション学域」の新設に係る統計資料としてのみ活用いたします。

学域概要	<p>開設時期：2020年4月（予定） 開設場所：立命館大学衣笠キャンパス 修業年限：4年</p> <p>募集人数：国際コミュニケーション学域 120名（予定） 言語コミュニケーション学域 80名（予定） 取得学位：学士</p>
養成する人材	<p>(1)人間や世界の様々な文化について幅広い知識を身につけ、人文学の方法論を用いて理解をすることができる</p> <p>(2)現代・過去の社会や文化に対して多面的な関心を持ち、自らの見解を形成できる</p> <p>(3)個人や文化の多様性を認め、社会の一員として行動できる</p> <p>(4)人間や文化について関心を持ち、自らの力で課題を設定し探求する意欲を持つ</p> <p>(5)現代社会が抱える問題に対し、大学で学んだことをもとに主体的に解決しようとする態度を持つ</p> <p>(6)自分の調査・研究の結果や、それらをふまえた自己の見解を、口頭あるいは文章や制作物の形で表現することができる</p>
学びの特色	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><国際コミュニケーション学域></p> <p>英語圏の文化と言語に関する諸科目や、それらと連携した学術英語科目、短期・長期留学プログラムなどを通して、体系的な四年一貫教育を受けることができます。現在の国際社会において大きな影響力を保持している英語圏の文化に関する豊かな見識と英語に関する知識を身につけ、高い英語運用能力を養うことによって、将来、日英両言語を駆使しつつ広く国内外で活躍できる人材の育成を目指します。</p> <p>取得可能な資格：中学校・高校教員免許（英語）など</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>1回生</p> <p>2回生～4回生</p> <p>国際コミュニケーション学域</p> <p>英語圏文化専攻</p> <p>北米、ブリテン島および周辺地域、オセアニア地域といった英語圏の国々の文化・歴史・社会について研究する。卒業後は、英語圏に関する豊かな知見と英語力を駆使し、国内外で広く活躍できる人材として社会に貢献することをめざす。</p> <p>国際英語専攻</p> <p>英語に焦点を当て、グローバル化社会における様々な英語使用現象を、応用言語学の最新の知見等を基盤に考察する。中学校・高等学校などの教員志望者は、このような専門性を生かしてグローバル化時代の英語教育を牽引する教員になることを目指す。</p> </div> </div> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><言語コミュニケーション学域></p> <p>〈ことば〉の普遍的性質を明らかにする方法論としての「言語学」、ことばを用いてヒトが他者との共通基盤を生み出し、個々の〈やりとり〉を元に自己と他者との〈かかわり〉を創発していくことを可能にするための方法論としての「コミュニケーション学」、の2つの基幹教学を貫くキーワードです。この学域では、「コミュニケーション・音声表現」「言語表現メディア」「言語研究」「日本語教育」「異文化間コミュニケーション」といった、広くことばとコミュニケーションにかかわる様々な分野を学び、各人が関心を持った具体的な研究テーマについて分析や実践を究めることで、研究と実践の双方向的な学びを実現することを目指します。</p> <p>取得可能な資格：中学校・高校教員免許（国語）、日本語教員など</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>1回生</p> <p>2回生～4回生</p> <p>言語コミュニケーション学域</p> <p>コミュニケーション表現専攻</p> <p>人文学に根ざしつつ、学際的な「コミュニケーション学」を基盤として、コミュニケーションとメディア表現の研究と実践を学ぶ。人々が無意識的に行うコミュニケーションの営みを観察し分析することを通じて、自己と他者との関係性の再発見と深化を促す。また、文章・音声・画像など様々な表現メディアの違いとその効果を意識した研究と実践を深める。</p> <p>言語学・日本語教育専攻</p> <p>言語学と日本語教育を並立的に学んでいくことで、言語と教育を有機的に結びつけることが可能となり、言語と社会、言語とアイデンティティといった多文化共生社会で必要な観点を身につける。学術的な言語研究から言語教育の実践まで深めることを目的とする。</p> </div> </div>

卒業後の進路

卒業生は、各学域での学びを活かし幅広い分野での活躍が期待されます。

<進路の例>

- 製造・流通・商社など
- 日本語教員（言語コミュニケーション学域）
- 金融分野
- 大学院進学 など
- サービス関連企業
- 中学校・高校教員（国語：言語コミュニケーション学域、英語：国際コミュニケーション学域）

初年次学費
(周辺主要大学含む)

大学名/学部名	初年次納付金 (入学金・授業料等の合計)
立命館大学/文学部	¥1,243,000程度を予定
同志社大学/文学部	¥1,212,000～¥1,214,000
関西大学/文学部	¥1,137,000
南山大学/人文学部	¥1,252,300
明治大学/文学部	¥1,294,000

- ※ 立命館大学文学部の学費は予定のものです。
- ※ 他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です（平成30年7月時点）。
- ※ いずれの大学も諸会費を含みません

上記内容は構想中の内容であり、今後、変更となる場合があります。

<以下、アンケートのご協力お願い致します。>

◆以下、該当する学年・性別・居住地に○を付けてください。

学年	1. 高校1年生 2. 高校2年生 3. 高校3年生 4. 高校既卒
性別	1. 男子 2. 女子
居住地	1. 近畿圏内（大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県） 2. 近畿圏外

◆あなたの興味のある学問分野の番号に○をしてください（複数回答可）。

- | | | |
|--------------|------------------|---------------------------------|
| 1. 文学・史学・地理学 | 2. 哲学・心理学 | 3. 外国語学 |
| 4. 国際関係学 | 5. 教育・教員養成 | 6. 法学・政治学 |
| 7. 経済・経営・商学 | 8. 社会・社会福祉 | 9. 教養・総合分野 |
| 10. 理学 | 11. 工学 | 12. 農・獣医畜産・水産 |
| 13. 医学 | 14. 歯学 | 15. 薬学 |
| 16. 看護学 | 17. 医療・保健学（看護以外） | 18. 栄養学・家政・生活科学 |
| 19. 体育・健康科学 | 20. 芸術 | 21. その他（ ） |

◆現在、あなたが興味を持っている学域は以下のどの学域ですか？あてはまるものを全て、お選びください。
該当する番号に○をしてください（複数回答可）。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 人間研究学域 | 2. 日本文学研究学域 |
| 3. 日本史研究学域 | 4. 東アジア研究学域 |
| 5. 国際文化学域 | 6. 地域研究学域 |
| 7. コミュニケーション学域 | 8. 興味のある学域は無い |

◆以下は「国際コミュニケーション学域」と「言語コミュニケーション学域」について、お伺いいたします。

問1 あなたは自分の進学先を考えるにあたって、それぞれの学域にどの程度興味が湧きますか。
該当する番号に○をしてください（各学域1つずつ選択）。
※実際に進学したいと思うかどうかは問わず、まずは興味があるかどうかを考えてください。

(1) 国際コミュニケーション学域

1. 興味が湧く
2. やや興味が湧く
3. どちらとも言えない
4. あまり興味が湧かない
5. 興味が湧かない

(2) 言語コミュニケーション学域

1. 興味が湧く
2. やや興味が湧く
3. どちらとも言えない
4. あまり興味が湧かない
5. 興味が湧かない

問2 それぞれの学域について、受験することを検討することはありそうですか。該当する番号に○をしてください（各学域1つずつ選択）。

(1) 国際コミュニケーション学域

1. 候補の1つとして、検討する
2. 候補の1つとして、検討する可能性はある
3. 候補の1つとして、検討する可能性はわずかにある
4. 検討しない

(2) 言語コミュニケーション学域

1. 候補の1つとして、検討する
2. 候補の1つとして、検討する可能性はある
3. 候補の1つとして、検討する可能性はわずかにある
4. 検討しない

どちらの学域も「検討しない」を選択された方は問5へお進み下さい。

問3 それぞれの学域にもし合格した場合、進学を検討しますか。該当する番号に○をしてください（各学域1つずつ選択）。

(1) 国際コミュニケーション学域

1. ぜひ進学したい
2. 進学を検討したい
3. どちらかと言えば、進学を検討したい
4. 進学したくない

(2) 言語コミュニケーション学域

1. ぜひ進学したい
2. 進学を検討したい
3. どちらかと言えば、進学を検討したい
4. 検討したくない

問4 あなたは、それぞれの学域のどのような点が魅力的だと思いますか。あてはまるものを全て、お選びください。該当する番号に○をしてください（複数回答可）。

(1) 国際コミュニケーション学域

1. 充実した英語教育
2. 英語圏文化専攻の教育内容
3. 国際英語専攻の教育内容
4. 英語科の教職免許を取得できること
5. 授業の約半数が英語で行われること
6. 留学などグローバルな学び

(2) 言語コミュニケーション学域

1. コミュニケーション表現専攻の教育内容
2. 言語学・日本語教育専攻の教育内容
3. 日本語教員養成課程を履修できること
4. 国語科の教職免許に興味があり、充実した学びができそう
5. 実践的にコミュニケーションを学べるところ
6. 学びが就職活動に直結しそうなどところ

問5 (問2で「検討しない」を選択した学域がある方のみご回答下さい)

あなたが設置構想中の「言語コミュニケーション学域」もしくは「国際コミュニケーション学域」の受験を「検討しない」と回答された理由をお選びください。該当する番号に○をしてください(複数回答可)。

(1) 国際コミュニケーション学域

1. 興味・関心のある分野ではないから
2. 興味はあるが、国公立大学への進学を強く希望しているから
3. 興味はあるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから
4. 教学の内容に魅力を感じないから
5. 通学が不便そうだから
6. 学費が高いから
7. 大学進学はしない(短期大学・専門学校に進学、就職を希望)

(2) 言語コミュニケーション学域

1. 興味・関心のある分野ではないから
2. 興味はあるが、国公立大学への進学を強く希望しているから
3. 興味はあるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから
4. 教学の内容に魅力を感じないから
5. 通学が不便そうだから
6. 学費が高いから
7. 大学進学はしない(短期大学・専門学校に進学、就職を希望)

設問は以上となります。ご回答ありがとうございました。

1.性別		
男	84	31.6%
女	181	68.0%
無記名	1	0.4%

2.居住地		
近畿	183	68.8%
近畿圏外	80	30.1%
無記名	3	1.1%

3. 興味のある学問分野(複数回答可)		
1. 文学・史学・地理学	215	80.8%
2. 哲学・心理学	60	22.6%
3. 外国語学	70	26.3%
4. 国際関係学	59	22.2%
5. 教育・教員養成	41	15.4%
6. 法学・政治学	32	12.0%
7. 経済・経営・商学	42	15.8%
8. 社会・社会福祉	24	9.0%
9. 教養・総合分野	5	1.9%
10. 理学	2	0.8%
11. 工学	2	0.8%
12. 農・獣医畜産・水産	0	0.0%
13. 医学	3	1.1%
14. 歯学	3	1.1%
15. 薬学	0	0.0%
16. 看護学	0	0.0%
17. 医療・保健学(看護以外)	2	0.8%
18. 栄養学・家政・生活科学	4	1.5%
19. 体育・健康科学	7	2.6%
20. 芸術	23	8.6%
21. その他	4	1.5%

4. 興味のある文学部の学域(複数回答可)		
人間研究学域	59	22.2%
日本文学研究学域	85	32.0%
日本史研究学域	89	33.5%
東アジア研究学域	19	7.1%
国際文化学域	80	30.1%
地域研究学域	29	10.9%
コミュニケーション学域	76	28.6%
なし	8	3.0%

問1 あなたは自分の進学先を考えるにあたって、それぞれの学域にどの程度興味が湧きますか。

(1) 国際コミュニケーション学域		
1. 興味が湧く	60	22.6%
2. やや興味が湧く	77	28.9%
3. どちらとも言えない	51	19.2%
4. あまり興味が湧かない	36	13.5%
5. 興味が湧かない	31	11.7%
回答なし	11	4.1%

(2) 言語コミュニケーション学域		
1. 興味が湧く	59	22.2%
2. やや興味が湧く	108	40.6%
3. どちらとも言えない	45	16.9%
4. あまり興味が湧かない	24	9.0%
5. 興味が湧かない	19	7.1%
回答なし	11	4.1%

問2 受験することを検討しますか

(1) 国際コミュニケーション学域		
1. 検討する	34	12.8%
2. 検討する可能性はある	70	26.3%
3. 検討する可能性はわずかにある	58	21.8%
4. 検討しない	93	35.0%
回答なし	11	4.1%

(2) 言語コミュニケーション学域		
1. 検討する	39	14.7%
2. 検討する可能性はある	80	30.1%
3. 検討する可能性はわずかにある	58	21.8%
4. 検討しない	77	28.9%
回答なし	12	4.5%

問3 合格した場合進学を検討しますか。

(1)国際コミュニケーション学域

1.ぜひ、進学したい	28	14.1%
2.進学を検討したい	61	30.8%
3.どちらかといえば進学を検討したい	78	39.4%
4.進学したくない	31	15.7%

(2)言語コミュニケーション学域

1.ぜひ、進学したい	25	12.4%
2.進学を検討したい	82	40.6%
3.どちらかといえば進学を検討したい	77	38.1%
4.進学したくない	18	8.9%

問4 どのような点が魅力的だと思うか。(複数回答可)

(1)国際コミュニケーション学域

1.充実した英語教育	95	28.4%
2.英語圏文化専攻の教育内容	55	16.5%
3.国際英語専攻の教育内容	33	9.9%
4.英語科の教職免許を取得できること	38	11.4%
5.授業の約半数が英語で行われること	24	7.2%
6.留学などグローバルな学び	89	26.6%

(2)言語コミュニケーション学域

1.コミュニケーション表現専攻の教育内容	89	26.4%
2.言語学・日本語教育専攻の教育内容	68	20.2%
3.日本語教員養成課程を履修できること	32	9.5%
4.国語科の教職免許に興味があり、充実した学びができそう	30	8.9%
5.実践的にコミュニケーションを学べる場所	67	19.9%
6.学びが就職活動に直結しそうなど	51	15.1%

問5 受験を検討しない理由。(複数回答可)

(1)国際コミュニケーション学域

1.興味・関心のある分野ではないから	74	78.7%
2.興味はあるが、国公立大学への進学を強く希望しているから	6	6.4%
3.興味はあるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから	3	3.2%
4.教学の内容に魅力を感じないから	5	5.3%
5.通学が不便そうだから	1	1.1%
6.学費が高いから	5	5.3%
7.大学進学はしない(短期大学・専門学校に進学、就職を希望)	0	0.0%

(2)言語コミュニケーション学域

1.興味・関心のある分野ではないから	62	77.5%
2.興味はあるが、国公立大学への進学を強く希望しているから	4	5.0%
3.興味はあるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから	2	2.5%
4.教学の内容に魅力を感じないから	7	8.8%
5.通学が不便そうだから	1	1.3%
6.学費が高いから	4	5.0%
7.大学進学はしない(短期大学・専門学校に進学、就職を希望)	0	0.0%

新設構想についての高校生・受験生アンケート調査結果

■コミュニケーション学域を志望した学生のうち、それぞれの学域にどの程度興味が湧くかどうか。

(1)国際コミュニケーション学域

1.興味が湧く	37	48.7%
2.やや興味が湧く	17	22.4%
3.どちらとも言えない	13	17.1%
4.あまり興味が湧かない	5	6.6%
5.興味が湧かない	4	5.3%

(2)言語コミュニケーション学域

1.興味が湧く	34	44.7%
2.やや興味が湧く	30	39.5%
3.どちらとも言えない	8	10.5%
4.あまり興味が湧かない	2	2.6%
5.興味が湧かない	2	2.6%

■コミュニケーション学域を志望した学生のうち、それぞれの学域に受験を検討することはあるかどうか。

(1)国際コミュニケーション学域

1.検討する	25	32.9%
2.検討する可能性はある	27	35.5%
3.検討する可能性はわずかにある	13	17.1%
4.検討しない	11	14.5%

(2)言語コミュニケーション学域

1.検討する	27	35.5%
2.検討する可能性はある	30	39.5%
3.検討する可能性はわずかにある	10	13.2%
4.検討しない	9	11.8%

■コミュニケーション学域を志望した学生のうち、合格した場合進学を検討するか

(1)国際コミュニケーション学域

1.ぜひ、進学したい	19	25.0%
2.進学を検討したい	21	27.6%
3.どちらかといえば進学を検討したい	25	32.9%
4.進学したくない	5	6.6%
回答なし	6	7.9%

76

(2)言語コミュニケーション学域

1.ぜひ、進学したい	17	22.4%
2.進学を検討したい	35	46.1%
3.どちらかといえば進学を検討したい	16	21.1%
4.進学したくない	5	6.6%
回答なし	3	3.9%

76

■コミュニケーション学域を志望した上でいずれかの学域に受験を検討しないと答えた学生のうち、それぞれの学域に魅力を感じない理由

(1)国際コミュニケーション学域

1. 興味・関心のある分野ではないから	2	18.2%
2. 興味はあるが、国公立大学への進学を強く希望しているから	2	18.2%
3. 興味はあるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから	0	0.0%
4. 教学の内容に魅力を感じないから	1	9.1%
5. 通学が不便そうだから	0	0.0%
6. 学費が高いから	1	9.1%
7. 大学進学はしない(短期大学・専門学校に進学、就職を希望)	0	0.0%

11

(2)言語コミュニケーション学域

1. 興味・関心のある分野ではないから	4	44.4%
2. 興味はあるが、国公立大学への進学を強く希望しているから	0	0.0%
3. 興味はあるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから	0	0.0%
4. 教学の内容に魅力を感じないから	1	11.1%
5. 通学が不便そうだから	0	0.0%
6. 学費が高いから	0	0.0%
7. 大学進学はしない(短期大学・専門学校に進学、就職を希望)	1	11.1%

9

■コミュニケーション学域を志望した上でどちらの学域にも受験を検討しないと答えた学生:2名

新設構想についての高校生・受験生アンケート調査結果

■コミュニケーション学域以外を志望した学生のうち、それぞれの学域にどの程度興味が湧くかどうか。

(1) 国際コミュニケーション学域

1.興味が湧く	23	12.1%
2.やや興味が湧く	60	31.6%
3.どちらとも言えない	38	20.0%
4.あまり興味が湧かない	31	16.3%
5.興味が湧かない	27	14.2%

(2) 言語コミュニケーション学域

1.興味が湧く	25	13.2%
2.やや興味が湧く	78	41.1%
3.どちらとも言えない	37	19.5%
4.あまり興味が湧かない	22	11.6%
5.興味が湧かない	17	8.9%

■コミュニケーション学域以外を志望した学生のうち、合格した場合進学を検討するか

(1) 国際コミュニケーション学域

1.ぜひ、進学したい	10	5.3%
2.進学を検討したい	40	21.1%
3.どちらかといえば進学を検討したい	53	27.9%
4.進学したくない	26	13.7%
回答なし	61	32.1%

(2) 言語コミュニケーション学域

1.ぜひ、進学したい	9	4.7%
2.進学を検討したい	47	24.7%
3.どちらかといえば進学を検討したい	61	32.1%
4.進学したくない	13	6.8%
回答なし	60	31.6%

資料 6

立命館大学 協定校・機関
Ritsumeikan University Partner Universities and Institutions

世界67カ国・地域 450大学・機関 (2018年5月1日 時点)
450 universities and institutions in 67 countries and regions (As of May 1, 2018)

「学生交換協定」欄の○印は、上記時点で学生交換留学を締結している大学・機関です。実際の学生交換留学にあたっては、学部生のみを対象とする、もしくは、大学院生のみを対象とする場合もあります。また、年度によって、実施大学、参加条件、派遣人数枠等が異なります。詳細は、立命館大学 国際教育センターにお問い合わせください。
The ○ mark in the [Student Exchange Agreement] column indicates the universities and institutions which have an Agreement for Student Exchange with Ritsumeikan University as of the above date. Faculty-specific exchanges and graduate student exchanges are also included. The availability of universities, its terms and conditions, and exchange numbers differ for each academic year. For details, please contact the International Center at Ritsumeikan University.

地域 Region	国名 Country	大学・機関名(日本語) University/Institution	University/Institution (In English)	協力協定 Cooperation	学生交換協定 Student Exchange	その他 Others	
Asia	Azerbaijan	アゼルバイジャン外交大学	ADA University	○			
	Bangladesh	バングラデシュ大学	Khazar University	○			
	Bangladesh	ダッカ大学	University of Dhaka	○			
	Cambodia	パンナサストラ大学	Pannasastra University of Cambodia	○			
	China	北京航空航大大学	Beihang University	Beihang University	○	○	
		復旦大学	Fudan University	Fudan University	○		
		北京理工大	Beijing Institute of Technology	Beijing Institute of Technology	○		
		北京語言大学	Beijing Language and Culture University	Beijing Language and Culture University	○		
		長春理工大	Changchun University of Science and Technology	Changchun University of Science and Technology	○		
		清華大学	Tsinghua University of Technology	ChangChun University of Technology	○		
長沙理工大		Changsha University of Science and Technology	Changsha University of Science and Technology	○			
中国企業連合会		China Enterprise Confederation	China Enterprise Confederation	○			
中国企業家幹部学院		China Executive Leadership Academy Pudong	China Executive Leadership Academy Pudong	○			
中国政法大学		China University of Political Science and Law	China University of Political Science and Law	○			
China	重慶交通大	Chongqing Jiaotong University	Chongqing Jiaotong University	○			
	重慶医科大学	Chongqing Medical University	Chongqing Medical University	○			
	重慶市人民政府教育委員会	Chongqing Municipal Education Commission	Chongqing Municipal Education Commission	○			
	重慶工商大	Chongqing Technology and Business University	Chongqing Technology and Business University	○			
	重慶三峽学院	Chongqing Three Gorges University	Chongqing Three Gorges University	○			
	重慶大学	Chongqing University of Science and Technology	Chongqing University of Science and Technology	○			
	重慶理工大	Chongqing University of Technology	Chongqing University of Technology	○			
	大連市教育局	Dalian Education Bureau	Dalian Education Bureau	○			
	大連教育学院(大連教育行政学院)	Dalian Education University	Dalian Education University	○			
	大連理工大学	Dalian Jiaotong University	Dalian Jiaotong University	○			
China	大連市	Dalian Municipal People's Government	Dalian Municipal People's Government	○			
	大連東軟信息学院	Dalian Neusoft University of Information	Dalian Neusoft University of Information	○			
	大連理工大学	Dalian Polytechnic University	Dalian Polytechnic University	○			
	大連軟件園股份有限公司	Dalian Software Park Co., Ltd.	Dalian Software Park Co., Ltd.	○			
	大連外国语学院	Dalian University of Foreign Languages	Dalian University of Foreign Languages	○			
	大連理工大学	Dalian University of Technology	Dalian University of Technology	○			
	浙江省教育厅	Department of Education of Zhejiang Province	Department of Education of Zhejiang Province	○			
	東北財経大	Dongbei University of Finance & Economics	Dongbei University of Finance & Economics	○	○		
	華東師範大	East China Normal University	East China Normal University	○			
	華東理工大学	East China University of Science and Technology	East China University of Science and Technology	○			
China	復旦大	Fudan University	Fudan University	○			
	福州大学	Fuzhou University	Fuzhou University	○			
	广西師範大	Guangxi Normal University	Guangxi Normal University	○			
	哈爾濱(ハルビン)工業大	Harbin Institute of Technology	Harbin Institute of Technology	○	○		
	河北工業大	Hebei University of Technology	Hebei University of Technology	○			
	華中科技大	Huazhong University of Science and Technology	Huazhong University of Science and Technology	○			
	江西師範大	Jiangxi Normal University	Jiangxi Normal University	○			
	江西財経大	Jiangxi University of Finance and Economics	Jiangxi University of Finance and Economics	○			
	吉林大	Jilin University	Jilin University	○	○		
	暨南大	Jinan University	Jinan University	○			
China	南京師範大	Nanjing Normal University	Nanjing Normal University	○			
	南京大	Nanjing University	Nanjing University	○			
	南京航空航天大学	Nanjing University of Aeronautics and Astronautics	Nanjing University of Aeronautics and Astronautics	○			
	南開大	Nankai University	Nankai University	○	○		
	東北師範大	Northeast Normal University	Northeast Normal University	○			
	東北大学	Northeastern University	Northeastern University	○			
	西北林科大	Northwest A&F University	Northwest A&F University	○			
	西北師範大	Northwest Normal University	Northwest Normal University	○			
	北京大	Peking University	Peking University	○	○		
	青島大	Qingdao University	Qingdao University	○			
China	青島師範大	Qinghai Normal University	Qinghai Normal University	○			
	中国人民大学	Renmin University of China	Renmin University of China	○			
	陝西師範大	Shaanxi Normal University	Shaanxi Normal University	○			
	山東大	Shandong University	Shandong University	○			
	上海社会科学院	Shanghai Academy of Social Sciences	Shanghai Academy of Social Sciences	○			
	上海交通大	Shanghai Jiao Tong University	Shanghai Jiao Tong University	○	○		
	上海大	Shanghai University	Shanghai University	○			
	上海財経大	Shanghai University of Finance and Economics	Shanghai University of Finance and Economics	○			
	瀋陽師範大	Shenyang Normal University	Shenyang Normal University	○			
	深圳大	Shenzhen University	Shenzhen University	○	○		
China	四川外国语大	Sichuan International Studies University	Sichuan International Studies University	○			
	四川大	Sichuan University	Sichuan University	○			
	蘇州大	Soochow University	Soochow University	○			
	華南理工大	South China University of Technology	South China University of Technology	○			
	西南交通大	Southwest Jiaotong University	Southwest Jiaotong University	○			
	西南大	Southwest University	Southwest University	○	○		
	西南財経大	Southwestern University of Finance and Economics	Southwestern University of Finance and Economics	○			
	西南政法大	Southwest University of Political Science & Law	Southwest University of Political Science & Law	○			
	天津工業大	Taiqian University of Technology	Taiqian University of Technology	○			
	天津大	Tianjin University	Tianjin University	○			
China	通北師範学院	Tonghua Normal University	Tonghua Normal University	○			
	同濟大	Tongji University	Tongji University	○			
	清華大	Tsinghua University	Tsinghua University	○			
	对外经济贸易大	University of International Business and Economics	University of International Business and Economics	○			
	中国科学技术大	University of Science and Technology of China	University of Science and Technology of China	○	○		
	武漢大	Wuhan University	Wuhan University	○			
	廈門大	Xiamen University	Xiamen University	○			
	西安交通大	Xian Jiaotong University	Xian Jiaotong University	○			
	新疆師範大	Xinjiang Normal University	Xinjiang Normal University	○			
	新疆大	Xinjiang University	Xinjiang University	○			
China	雲南省社会科学院	Yunnan Academy of Social Sciences	Yunnan Academy of Social Sciences	○			
	浙江農林大	Zhejiang A & F University	Zhejiang A & F University	○			
	浙江工商大	Zhejiang Gongshang University	Zhejiang Gongshang University	○			
	浙江大	Zhejiang University	Zhejiang University	○			
	中山大	Sun Yat-sen University	Sun Yat-sen University	○			
	(Hong-Kong)	香港中文大	The Chinese University of Hong Kong	○			
	(Hong-Kong)	香港理工大	The Hong Kong Polytechnic University	○	○		
	(Hong-Kong)	香港大	The University of Hong Kong	○	○		
	(Macau)	澳门科技大学	Institute for Tourism Studies, Macau	○			
	(Macau)	澳门大	University of Macau	○			
India	GDI(世界開発ネットワーク)	Global Development Network	Global Development Network	○			
	インド工科大学ハイderabad校	Indian Institute of Technology Hyderabad	Indian Institute of Technology Hyderabad	○			
	インド工科大学Kanpur校	Indian Institute of Technology Kanpur	Indian Institute of Technology Kanpur	○			
	ジャワハール・ネール大学	Jawaharlal Nehru University	Jawaharlal Nehru University	○			
	ニッテ大	Nitte Education Trust	Nitte Education Trust	○			
	デリー大	University of Delhi	University of Delhi	○			
	マドラス大	University of Madras	University of Madras	○			
	マイソール大	University of Mysore	University of Mysore	○			
	プネ大	University of Pune	University of Pune	○			
	アンダラス大	Andalus University	Andalus University	○			
Indonesia	ブラウジャヤ大	University of Braujaya	University of Braujaya	○			
	ガジャマダ大	Gadjah Mada University	Gadjah Mada University	○			
	インドネシア国立芸術大学ジョグジャカルタ校	Indonesia Institute of the Arts Yogyakarta	Indonesia Institute of the Arts Yogyakarta	○	○		
	バンテン工科大	Bandung Institute of Technology	Bandung Institute of Technology	○			
	イスラム・インドネシア大	Islamic University of Indonesia	Islamic University of Indonesia	○			
	西スマトラ州政府	Local Government of West Sumatra	Local Government of West Sumatra	○			
	パダンジャラン大	Padjadjaran University	Padjadjaran University	○			
	トリカラニ大	Trisakti University	Trisakti University	○			
	国立イスラム大	Syarif Hidayatullah State Islamic University Jakarta	Syarif Hidayatullah State Islamic University Jakarta	○			
	スラバヤ国立大	State University of Surabaya	State University of Surabaya	○			
Indonesia	インドネシア大	University of Indonesia	University of Indonesia	○	○		
	アスフェンディアロフ医科大学	Aufendiarov Kazakh National Medical University	Aufendiarov Kazakh National Medical University	○			
Kazakhstan	カザフ経済大	Kazakh Economic University	○				

立命館大学 協定校・機関
Ritsumeikan University Partner Universities and Institutions

世界67カ国・地域 450大学・機関 (2018年5月1日 時点)
450 universities and institutions in 67 countries and regions (As of May 1, 2018)

「学生交換協定」欄の○印は、上記時点で学生交換留学を締結している大学・機関です。実際の学生交換留学にあたっては、学部生のみを対象とする、もしくは、大学院生のみを対象とする場合もあります。また、年度によって、実施大学、参加条件、派遣人数枠等が異なります。詳細は、立命館大学 国際教育センターにお問い合わせください。
The O mark in the [Student Exchange Agreement] column indicates the universities and institutions which have an Agreement for Student Exchange with Ritsumeikan University as of the above date. Faculty-specific exchanges and graduate student exchanges are also included. The availability of universities, its terms and conditions, and exchange numbers differ for each academic year. For details, please contact the International Center at Ritsumeikan University.

地域 Region	国名 Country	大学・機関名(日本語) University/Institution	University/Institution (In English)	協力協定 Cooperation	学生交換協定 Student Exchange	その他 Others		
Korea		暹洲大学	Ajou University	○	○			
		済州大学	Jeju National University	○				
		忠清南道大学	Chung-Ang National University	○				
		中央大学	Chung-Ang University	○	○			
		大邱大学	Daejeon University	○				
		東国大学	Dongguk University	○				
		東国大学	Dongseo University	○				
		梨花女子大学	Ewha Women's University	○	○			
		高麗大学校	Gachon University	○				
		翰林大学	Hankyong University	○				
		韓国外国語大学	Hankuk University of Foreign Studies	○				
		漢陽大学	Hanyang University	○				
		仁荷大学	Inha University	○				
		韓国海洋大学	Korea Maritime and Ocean University	○				
		韓国国家体育学院	Korea National Sport University	○				
		高麗大学	Korea University	○	○			
		慶熙大学	Kyung Hee University	○	○			
		慶熙大学校	Kyungpook National University	○				
		培材大学	Pai Chai University	○				
		浦項理工科大学	Pohang University of Science and Technology	○				
		釜山国立大学	Pusan National University	○	○			
		釜山大学	Sangju University	○				
		ソウル大学	Seoul National University	○				
		ソウル女子大学	Seoul Women's University	○				
		尚志大学	Saigang University	○				
		尚明女子大学	Sookmyung Women's University	○	○			
		成均館大学	Sungkyunkwan University	○	○			
		韓国カトリック大学	The Catholic University of Korea	○	○			
		ソウル市立大学	The University of Seoul	○				
		蔚山大学	University of Ulsan	○				
		嶺南大学校	Yeungnam University	○				
		延世大学	Yonsei University	○	○			
		Kyrgyzstan		キルギス国立大学	Kyrgyz-Turkish Manas University	○		
		Laos		ラオス国立大学	National University of Laos	○		
		Malaysia		マレーシア戦略国際問題研究所	Institute of Strategic and International Studies (ISIS) Malaysia	○		
				マレーシアサラハク大学	University Malaysia Sarawak	○		
				マラヤ大学	University of Malaya	○		
				マレーシアサハバ大学	Universiti Malaysia Sabah	○		
				マレーシアマラッカ大学	Universiti Putra Malaysia	○		
				マレーシア科学大学	University of Science Malaysia	○	○	
		Mongolia		マネジストアカデミー	Academy of Management	○		
				モンゴル国立大学	Mongolian University of Science and Technology	○		
		Pakistan		ラホール経済科学大学	Lahore University of Management Sciences	○		
		Philippines		マニラ大学	Ateneo de Manila University	○		
				デラサール大学	De La Salle University	○		
SEAMEO SEARCA	SEAMEO SEARCA (Southeast Asian Regional Center for Graduate Study and Research in Agriculture)			○				
Singapore		南洋理工科大学	Nanyang Technological University	○				
		シンガポール国立大学	National University of Singapore	○	○			
Sri Lanka		シンガポール・マネジスト大学	Singapore Management University	○				
		CIMA	Chartered Institute of Management Accountants (Sri Lanka Division)	○				
Taiwan		ICIA	Information & Communication Technology Agency of Sri Lanka	○				
		国立科学基金	National Science Foundation	○				
		コロンボ大学	University of Colombo	○				
		中央研究院	Academia Sinica	○				
		清華大学	Feng Chia University	○				
		国立政治大学	National Chengchi University	○	○			
		国立交通大学	National Chiao Tung University	○				
		国立高雄第一科技大学	National Kaohsiung First University of Science and Technology	○				
		国立陽明山大学	National Sun Yat-sen University	○	○			
		国立台中教育大学	National Taichung University of Education	○				
		国立北科科技大学	National Taipei University of Technology	○				
		国立高雄師範大学	National Taiwan Normal University	○	○			
		国立台湾大学	National Taiwan University	○	○			
		聖光大学	Shih Hsin University	○				
		南方科技大学	Southern Taiwan University of Science and Technology (STUST)	○				
Thailand		清華大学	Tamkang University	○	○			
		東海大学	Tunghai University	○				
		元智大学	Yuan Ze University	○				
		ブルガキ大学	Burgaku University	○				
		チャングマイ大学	Chiang Mai University	○				
		チュラロンコン大学	Chulalongkorn University	○				
		カセサート大学	KASETSART UNIVERSITY	○	○			
		コンケン大学	Khon Keen University	○				
		マヒドゥン大学	Mahidol University	○	○			
		NIDA(タイ国立開発行政研究所)	National Institute of Development Administration	○				
Vietnam		サイラム大学	Siam University	○				
		泰日工業大学	Thai-Nichi Institute of Technology	○				
		タマサート大学	Thammasat University	○	○			
		タイ工業連盟	The Federation of Thai Industries	○				
		ダナン大学	The University of Danang	○				
Oceania		ハノイ医科大学	Hanoi Medical University	○				
		ハノイ師範大学	Hanoi National University of Education	○				
		ハノイ工科大学	Hanoi University of Science and Technology	○				
		ホーチミン市工科大学	Ho Chi Minh City University of Technology	○				
		ホーチミン師範大学	Ho Chi Minh University of Pedagogy	○				
		フエ外国語大学	University of Foreign Languages, Hue University	○				
		ベトナム教育訓練省	Ministry of Education and Training Vietnam	○				
		サイゴン国際大学	The Saigon International University	○				
		ベトナム国家大学ハノイ校・工科大学	University of Engineering and Technology, Vietnam National University, Hanoi (VNU)	○				
		フエ大学	Hue University	○				
		ベトナム国家大学ハノイ校・人文社会科学大学	VNU University of Social Sciences and Humanities, Hanoi	○				
		ベトナム国家大学ホーチミン市校・人文社会科学大学	University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University Ho Chi Minh City	○				
		ベトナム国家大学ハノイ校	Vietnam National University, Hanoi	○				
		ベトナム国家大学ホーチミン市校	Vietnam National University, Ho Chi Minh City	○				
		Australia		オーストラリア国立大学	Australian National University	○	○	
チャールズ・スタート大学	Charles Sturt University			○				
フレザース大学	Finders University			○				
グリフィス大学	Griffith University			○				
ラ・トロブ大学	La Trobe University			○	○			
マコーレー大学	Macquarie University			○	○			
クイーンズランド工科大学	Queensland University of Technology			○	○			
シドニー大学	The University of Sydney			○	○			
アデレード大学	The University of Adelaide			○	○			
クイーンズランド大学	The University of Queensland			○	○			
西オーストラリア大学	The University of Western Australia			○	○			
メルボルン大学	University of Melbourne			○	○			
New Zealand		ニューサウスウェールズ大学	University of New South Wales	○	○			
		ニュージーランド国立大学	University of the South Pacific	○	○			
		ニュージーランドASIA財団	Asia New Zealand Foundation	○				
Fiji		オークランド工科大学	Auckland University of Technology	○				
		マッセウ大学	Massey University	○				
		オタゴポリテクニク	Otago Polytechnic	○	○			
		オ克兰ド大学	The University of Auckland	○	○			
Samoa		オタゴ工科大学(オタゴ)	Victoria University of Wellington	○	○			
		サモア国立大学	National University of Samoa	○				

立命館大学 協定校・機関
Ritsumeikan University Partner Universities and Institutions

世界67カ国・地域 450大学・機関 (2018年5月1日 時点)
450 universities and institutions in 67 countries and regions (As of May 1, 2018)

「学生交換協定」欄の○印は、上記時点で学生交換留学を締結している大学・機関です。実際の学生交換留学にあたっては、学部生のみを対象とする、もしくは、大学院生のみを対象とする場合もあります。また、年度によって、実施大学、参加条件、派遣人数等が異なります。詳細は、立命館大学 国際教育センターにお問い合わせください。
The O mark in the [Student Exchange Agreement] column indicates the universities and institutions which have an Agreement for Student Exchange with Ritsumeikan University as of the above date. Faculty-specific exchanges and graduate student exchanges are also included. The availability of universities, its terms and conditions, and exchange numbers differ for each academic year. For details, please contact the International Center at Ritsumeikan University.

地域 Region	国名 Country	大学・機関名(日本語) University/Institution	University/Institution (In English)	協力協定 Cooperation	学生交換協定 Student Exchange	その他 Others
North America	Canada	HECモントリオール	HEC Montreal	○		
		オカナガンカレッジ	Okanagan College	○		
		ケスト大学	Quest University Canada	○	○	
		サイモン・フレイザー大学	Simon Fraser University	○		
		アルバータ大学	University of Alberta	○		
		フレゼリアン大学	University of Fraser Valley	○		
		ブリティッシュ・コロンビア大学	The University of British Columbia	○		
		ビクトリア大学	University of Victoria	○		
		アプルソッド大学	Apuero University	○		
		アメリカ大学	American University	○		
		アパラチアン州立大学	Appalachian State University	○		
		バトラー大学	Baylor University	○		
	U.S.A	カリフォルニア総合政策研究センター	California Institute of Integral Studies (CIIS)	○		
		カリフォルニア州立大学フレズノ校	California State University, Fresno	○		
		カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	California State University, Long Beach	○		
		カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校	California State University, Monterey Bay	○		
		チャプマン大学	Chapman University	○		
		ニューヨーク州立大学ステテン・アイランド校	College of Staten Island, The City University of New York	○		
		デポール大学	DePaul University	○		
		フェアleigh Dickinson大学	Fairleigh Dickinson University	○		
		フロリダ国際大学	Florida International University	○		
		ジョージタウン大学	Georgetown University	○		
		ジョージアカレッジ&ステート大学	Georgia College & State University	○		
		グランドヴァレー州立大学	Grand Valley State University	○		
		イリノイカレッジ	Illinois College	○		
		ジェームズ・マディソン大学	James Madison University	○		
		ミネソタ州立大学セント・ハート校	University of Minnesota Twin Cities	○		
		オハイオノーザン大学	Ohio Northern University	○		
		オクラホマ州立大学	The University of Oklahoma	○		
		オールド・ドミニオン大学	Old Dominion University	○		
		ペンネルバニア州立大学	Pennsylvania State University	○		
		ルターズ大学	Rutgers, The State University of New Jersey	○		
		サンディエゴ州立大学	San Diego State University	○		
		シモンスカレッジ	Simmons College	○		
		セントエドワードズ大学	St. Edward's University	○		
		サフォーク大学	Suffolk University	○		
		テネシー工科大学	Tennessee Tech University	○		
		ジョージア理工科大学	The Georgia Institute of Technology	○		
		アラバマ大学	The University of Alabama	○		
		ミシシッピ大学	The University of Mississippi	○		
		モンタナ大学	University of Montana	○		
		ニューメキシコ大学	The University of New Mexico	○		
ワシントン大学	University of Washington	○				
ニューヨーク州立大学バッファロー校	University at Buffalo, The State University of New York	○				
ニューヨーク州立大学ブロンクス校	State University of New York College at Plattsburgh	○				
カリフォルニア大学デービス校	University of California, Davis	○				
ハワイ大学	University of Hawaii	○				
ミネソタ大学インシテール校	University of Minnesota Twin Cities Campus	○				
ノースカロライナ大学グリーンズボロ校	The University of North Carolina at Greensboro	○				
ノーステキサス大学	University of North Texas	○				
オクラホマ州立大学	The University of Oklahoma	○				
ピッツバーグ大学	University of Pittsburgh	○				
サンフランシスコ大学	University of San Francisco	○				
南カリフォルニア大学	University of Southern California	○				
ヴァンダービルト大学	Vanderbilt University	○				
ヴァassarカレッジ	Vassar College	○				
ウェスタンミシガン大学	Western Michigan University	○				
ウエスタンミシガン大学	Western Michigan University	○				
Latin America	Argentina	コンセプシオン大学	Concepcion National University of La Plata	○		
		ロザリオ国立大学	Rosario National University	○		
		トルカド・ディア・テラス大学	Torcuato Di Tella University	○		
	Brazil	アマゾン・インスティテュート	Amazonian University of Enterprise	○		
		クルゼイロ・カトリック大学	Cruzeiro do Sul University	○		
	Colombia	ロス・アンデス大学	University of Los Andes	○		
		コロンビア大学	Universidad del Pacifico	○		
	Mexico	ベネズエラ国立大学	Banco Americano University	○		
		モンテレー国立大学	Monterrey Institute of Technology and Higher Education	○		
		メキシコ国立工科大学	National Polytechnic Institute	○		
		メキシコ工科大学	The College of Mexico	○		
		モンテレー国立大学	University of Monterrey	○		
ESAN大学院		ESAN Graduate School of Business	○			
国立農業大学		National Agrarian University at La Molina	○			
国立工科大学		National University of Engineering	○			
パナマ外交学院		Peruvian Diplomatic Academy	○			
ペルー大学カイヤタ・エレディア		Peruvian University Cayetano Heredia	○			
ペルーカトリック大学		Pontifical Catholic University of Peru	○			
リマ大学		University of Lima	○			
太平洋大学	University of the Pacific	○				
Europe	Austria	インスブルック・マネジメントセンター	Management Center Innsbruck	○		
		ザルツブルグ応用科学大学	Salzburg University of Applied Sciences	○		
	Belgium	ブリュッセル外国語大学	Brussels University of Applied Sciences (STI Institut supérieur de traducteurs et interprètes)	○		
		リエージュ大学	University of Liege	○		
	Bulgaria	国立経済大学	University of National and World Economy	○		
		ブルガリア経済大学	Bulgarian School of Economics and Management	○		
	Czech Republic	キエフ工科大学	The Cyrillus University of Technology	○		
		マサリク大学	Masaryk University	○		
	Denmark	カールスベルク大学	Carlsberg University	○		
		コペンハーゲン大学	Copenhagen Business School	○		
	Finland	南フィンランド応用科学大学	University of Applied Sciences	○		
		タンペレ工科大学	Tampere University of Technology	○		
France	ヘルシンキ大学	University of Helsinki	○			
	ボルドーモナク大学	University of Bordeaux	○			
	フランス国立高等師範学校	Bordeaux Montaigne University	○			
	フランスビジネススクール	École Normale Supérieure	○			
	エッセビジネススクール	French Business School	○			
	ICNビジネススクール	ESCEM School of Business and Management	○			
	ICNビジネススクール	ICN Business School	○			
	ボルドー政府学院	Sciences Po Bordeaux	○			
	リヨン3大学	Jean Moulin Lyon 3 University	○			
	リヨン1大学	Sciences Po Lyon	○			
	パリ7大学	Paris Diderot University	○			
	ストラスブール大学	Strasbourg University	○			
Germany	トールズ・カピトル大学	Toulouse 1 Capitole University	○			
	アウグスト・ルンデ大学	Aix-Marseille University	○			
	トールズ・カピトル大学	University Toulouse - Jean Jaurès	○			
	カールスルース大学	ASKO EUROPA-STIFTUNG	○			
	アムン・応用科学大学	Julius Maximilian University of Würzburg	○			
	フランクフルト大学	Fhn University Bielefeld KONRAD WOLF	○			
	フランクフルト大学	Jacobs University	○			
	ニュルンベルク工科大学	Nuremberg Institute of Technology	○			
	ザールラント大学	Saarland University	○			
	ハルビン工科大学	Hamburg University of Applied Sciences	○			
	アウグスブルグ応用科学大学	Augsburg University of Applied Sciences	○			
	ブレーメン州立経済工科大学	Bremen University of Applied Sciences	○			
トリアー大学	Triar University of Applied Sciences	○				
カールスルース大学	University of Cologne	○				
フライブルク大学	University of Freiburg	○				
ミュンスター大学	University of Münster	○				
デュッセルドルフ大学	University of Duisburg	○				
ゾーリンゲン大学	Zooepfen University	○				
Hungary	ブダペスト商科大学	Budapest Business School	○			
	ブダペスト工科大学	Budapest University of Technology and Economics	○			
Iceland	アイスランド大学	University of Iceland	○			
	都立大学	Dublin City University	○			
Italy	カトリック大学	Ca' Foscari University of Venice	○			
	サクロ・スピリット・カトリック大学	Catholic University of the Sacred Heart	○			
	カッシーノ大学	University of Cassino and Southern Lazio	○			
	フィレンツェ大学	University of Florence	○			
	ミラノ大学	Politecnico di Milano	○			
	ボローネ大学	University of Gastronomic Sciences	○			
ナポリ東洋大学	University of Naples "L'Orientale"	○				

立命館大学 協定校・機関
Ritsumeikan University Partner Universities and Institutions

世界67カ国・地域 450大学・機関 (2018年5月1日 時点)
450 universities and institutions in 67 countries and regions (As of May 1, 2018)

「学生交換協定」欄の○印は、上記時点で学生交換留学を締結している大学・機関です。実際の学生交換留学にあたっては、学部生のみを対象とする、もしくは、大学院生のみを対象とする場合があります。また、年度によって、実施大学、参加条件、派遣人数枠等が異なります。詳細は、立命館大学 国際教育センターにお問い合わせください。
The ○ mark in the [Student Exchange Agreement] column indicates the universities and institutions which have an Agreement for Student Exchange with Ritsumeikan University as of the above date. Faculty-specific exchanges and graduate student exchanges are also included. The availability of universities, its terms and conditions, and exchange numbers differ for each academic year. For details, please contact the International Center at Ritsumeikan University.

地域 Region	国名 Country	大学・機関名(日本語) University/Institution	University/Institution (In English)	協力協定 Cooperation	学生交換協定 Student Exchange	その他 Others
Europe	Lithuania	ビリニュス大学	Vilnius University	○		
		ライオン大学	Leiden University	○	○	
	Netherlands	ライデン大学	Leiden University	○	○	
		ライデン大学	Radboud University	○	○	
		エラスムス大学ロツテルダム・社会科学大学院大学(ISS)	The International Institute of Social Studies of Erasmus University Rotterdam ISS	○		
	Norway	ティルブルグ大学	Tilburg University	○		
		イェンズブルグ大学	Åland Norway University of Applied Sciences	○	○	
		ベルゲン大学	University of Bergen	○	○	
	Poland	ヤギェウォン大学	Jagiellonian University	○	○	
		ポーランド日本情報理工学	Polish-Japanese Academy of Information Technology	○		
		ポーランド科学アカデミー	Polish Academy of Sciences	○		
		ワルシャワ経済大学	SGH Warsaw School of Economics	○		
		ワロツワ経済学	Wroclaw University of Economics	○		
	Portugal	リスボン大学	ISCTE-University Institute	○		
		ルーマニア・アメリカ大学	Romanian-American University	○	○	
	Russian Federation	極東連邦大学	Far Eastern Federal University	○		
		ロシア科学アカデミー東洋学研究所	Institute of Oriental Studies of the Russian Academy of Sciences	○		
		モスクワ国際関係大学	Moscow State Institute of International Relations (University) of the Ministry of Foreign Affairs of the Russian Federation (MGIMO)	○		
		ロシア科学アカデミー極東研究所	Institute of Far Eastern Studies of the Russian Academy of Sciences	○		
		サンクトペテルブルク国立大学	Saint Petersburg University	○		
Spain	サハリン国立総合大学	Sakhalin State University	○			
	トムスカ国立制御システム情報電子工学大学	Tomsk State University of Control Systems and Radioelectronics	○			
	バルセロナ自治大学	Autonomous University of Barcelona	○			
	バスク自治大学	IE University	○	○		
	セントルイス大学マドリッド校	Saint Louis University, Madrid Campus	○			
	グラナダ大学	The University of Granada	○	○		
	アリカンテ大学	University of Alicante	○	○		
	ハエン大学	University of Jaen	○	○		
	カンタブリア大学コンポステラ	University of Santiago de Compostela	○	○		
	ハルムスター大学	Halmstad University	○			
Sweden	ヨンショーピング大学	Jönköping International Business School	○			
	リンネ大学	Linneus University	○	○		
	ルンド大学	Lund University	○	○		
	マルメ大学	Malmö University	○	○		
	セーデルホルム大学	Södertörns högskola	○	○		
	ヨーボ大学	University of Gothenburg	○	○		
	ルツェルン応用科学大学	Lucerne University of Applied Science and Arts, School of Business	○			
	チューリッヒ応用科学大学	Zürich University of Applied Sciences	○			
U.K.	カーディフ大学	Cardiff University	○	○		
	オルナムイブ技術研究所	Centre for Alternative Technology	○			
	キングスカレッジ・ロンドン	King's College London	○	○		
	ランカスター大学	Lancaster University	○			
	ロンドン大学ロイヤルホロウェイ	Royal Holloway and Bedford New College, University of London	○	○		
	グラスゴウ美術大学	The Glasgow School of Art	○			
	ロンドン大学SOAS	School of Oriental and African Studies, University of London	○	○		
	マンチェスター大学	The University of Manchester	○	○		
	イェンズブルグ大学	University of Nottingham	○	○		
	シェフィールド大学	The University of Sheffield	○	○		
	イーストアングリア大学	University of East Anglia	○	○		
	ロジックバロ大学	The University of Edinburgh	○	○		
	ハーフトードシャー大学	University of Hertfordshire	○	○		
	リーズ大学	University of Leeds	○	○		
	レスター大学	University of Leicester	○	○		
	レディング大学	University of Reading	○	○		
	サウサンプトン大学	University of Southampton	○	○		
	サセックス大学	University of Sussex	○	○		
	ウォーリック大学	University of Warwick	○	○		
	ウェストミンスター大学	University of Westminster	○	○		
ヨーク大学	University of York	○	○			
Middle East	Iran	イマム・サデグ大学	Imam Sadia University	○		
	Jordan	シャバハブ大学	Shabab University	○		
Africa	Kenya	ハイパー・テクノロジー	Higher Colleges of Technology	○		
	Nigeria	ベニン大学	University of Benin	○		
South Africa	ヨハネスブルグ大学	University of Johannesburg	○			
	プレトリア大学	University of Pretoria	○			
Others		アジア開発銀行	Asian Development Bank	○		
		国際ボランティア計画	United Nations Volunteers Programme	○		
		国際大学ネットワーク(INU)	International Network of Universities (INU)	○		

資料7 2018（平成30）年度附属校企画日程

番号	企画名称	企画略称	実施予定日	場所	企画目的
1	附属・提携校 入学前教育企画	附属・提携校 プレエントランスデイ	2019/2/5(火) 2019/2/12(火)	立命館大学	大学入学前期間の学習週間の継続および学習意欲向上
2	高1BKC授業体験・研究室訪問	【立命館】アカデミックデイⅡ 【守山】デモンス・トレージョンデイ	2018/9/20(木)	立命館大学	(1)理系研究体験による興味・関心喚起 (2)理系志望者増加、進学 動機強化 (3)合同企画による生徒間啓発、労力合理化
3	全学部紹介(学生)	学部紹介ウィーク	2018/6月中旬	立命館高校	学部選択の材料とする。
4	高2全学部紹介(教員)	高2キャリアガイダンス	2018/10月下旬	立命館高校	学部選択の材料とする。
5	高1・2全学部紹介(教員)	キャリア・ナビ2	2018/10/1(月)～5(金)	立命館宇治高校	高校1、2年を対象に、学部学科などの学びの詳細を伝える
6	全学部紹介(教員)	R-Navigation	2018/6/23(土)	立命館慶祥高校	進路・学部選択の材料とする
7	中2京都研修	中2京都研修	2018/10/16～17	立命館大学	立命館のアイデンティティの醸成と進路・学部選択の材料
8	課題研究優秀論文発表会	文系課題研究 高大連携	2019/2/月上旬	立命館慶祥高校	優秀論文の発表を通し、今後進学するRU、APUでの学びにつなげ る。
9	高3全学部紹介(教員)	アカデミックウィークⅢ	2018/6/25(月)～29(金)	立命館守山高校	学部の教学内容についての理解を深め、進路選択につなげる

立命館大学 2017年度 進路決定状況
立命館大学 2017年度(2018年春) 学部卒業生 進路決定状況【一部加工】

学部	卒業者(A)	就職(B)	進学(C)	その他(D)	不明(E)	進路把握率(F)	進路決定率(G)
法学部	844	660	80	80	24	97.2%	87.7%
経済学部	800	700	21	69	10	98.8%	90.1%
経営学部	794	698	19	62	15	98.1%	90.3%
産業社会学部	907	792	24	66	25	97.2%	90.0%
国際関係学部	322	262	18	35	7	97.8%	87.0%
政策科学部	379	330	20	27	2	99.5%	92.3%
文学部	1112	894	99	89	30	97.3%	89.3%
映像学部	146	115	12	16	3	97.9%	87.0%
スポーツ健康科学部	225	183	28	13	1	99.6%	93.8%
文系学部 小計	5,529	4,634	321	457	117	97.9%	89.6%
理工学部	849	396	428	25	0	100.0%	97.1%
数学物理系	136	69	56	11	0	100.0%	91.9%
電子システム系	240	106	129	5	0	100.0%	97.9%
機械システム系	250	94	152	4	0	100.0%	98.4%
環境都市系	223	127	91	5	0	100.0%	97.8%
情報理工学部	415	233	163	19	0	100.0%	95.4%
生命科学部	297	119	169	9	0	100.0%	97.0%
薬学部	85	70	2	12	1	98.8%	84.7%
理系学部 小計	1,646	818	762	65	1	99.9%	96.0%
合計	7,175	5,452	1,083	522	118	98.4%	91.1%

※卒業者(A)には前期卒業生(2017年9月卒業生)および早期卒業生を含む。

※就職(B)・・・就職者(民間・公務員・教員)、在学中から引続きの就業者、家業、プロ契約、起業、就職見込有り。

※進学(C)・・・大学院、海外の大学・大学院、他大学、各種学校。

※その他(D)・・・資格試験・進学等の受験準備、就職活動継続予定、就職意思なし、アルバイト、帰国、留学など。

※不明(E)・・・未報告。

※進路把握率(F)＝(就職(B)＋進学(C)＋その他(D))÷卒業生(A)×100

【加工データ】※進路決定率(G)＝(就職(B)＋進学(C))÷卒業生(A)×100

学校法人立命館「データで見る立命館」より一部抜粋・一部加工 (<http://www.ritsumeikan-trust.jp/file.jsp?id=234266&f=.pdf>)

海外留学
STUDY ABROAD PROGRAM
プログラム



海外留学を計画す
る



海外留学プログラムの紹
介



海外留学に向けての準
備



留学体験記・コンテス
ト



海外留学相談・情報収
集



海外留学プログラムの紹介 全学募集プログラム

ホーム > 海外留学プログラムの紹介 > 全学募集プログラム

自分に適した海外留学プログラムを探し、
単なる語学力の向上にとどまらない留学プランを計画してくださ
い。



立命館大学の留学プログラムのレベルと主な内容

立命館大学では以下のレベルごとに留学プログラムを設定しています。
(ただし、各学部・教学機関によるプログラムなど、この分類に該当しないものもあります)

<初級>

▽
イニシエーション型

<中級>

▽
モチベーション向上型

<上級>

▽
アドバンスト型

<初級> イニシエーション型

■ プログラムの目的

語学力の向上と異文化体験を主要な目的としたプログラム。

■ 留学のタイプ

海外経験があまりない人や、語学レベルが初級者向けの異文化体験・語学修得を中心とした短期研修。

プログラム名	期間	
<ul style="list-style-type: none"> ▶ ホーチミン市人文社会科学大学 	夏期休暇中	約1週間
▶ Global Fieldwork Project		
▶ マレーシア科学大学		
▶ パンニャサ大学		
▶ 立命館・昭和ボストン「文化・社会調査」プログラム	夏期休暇中	約4週間
▶ 異文化理解セミナー	夏期休暇中	約4週間
▶ サイモンフレーザー大学		
▶ ノッティンガム大学		
▶ ニー・アン・ポリテクニク		
▶ 北京大学		
▶ イリノイカレッジ	春期休暇中	約4週間
▶ オクラホマ大学		
▶ ボストン大学		
▶ ニューヨーク大学		
▶ オカナガンカレッジ		
▶ ウォーリック大学		
▶ メルボルン大学		

プログラム名	期間
▶ ビクトリア大学ウェリントン	
▶ 南開大学	
▶ 国立台湾師範大学	
▶ 高麗大学	
▶ トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校	
▶ ライブツィヒ大学	
▶ アルカラ大学	
▶ モンテレイ工科大学	

<中級> モチベーション向上型

■ プログラムの目的

語学力を高めながら外国語による講義を受けるプログラム。

■ 留学のタイプ

特定のテーマ設定による講義やフィールドワークなど。期間も短期から中長期まで幅広い。語学研修や正規開講科目を受講できるものもあり、中級以上の語学力が求められる。

プログラム名	期間
▶ 海外スタディ	夏期休暇 中 約2週間
▶ ペース大学「ニューヨークで学ぶ国際 連合」	
▶ インドネシア国際協力「国際協力をこ の目で」	約4週間

プログラム名	期間	
▶ <u>ラトガーズ大学「多様な視点から見るアジア太平洋の国際関係」</u>	春期休暇 中	
▶ <u>Asian Community Leadership Seminar「日本・韓国・台湾で学ぶ“アジア・平和・未来”</u>	夏期休暇 中	約3週間
▶ <u>立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム</u>	夏期休暇 中	約7週間
▶ <u>立命館・マラ工科大学「東南アジアで学ぶ多文化共生とダイバーシティ」プログラム</u>	夏期出発	1 Semester (約5ヶ月間)
▶ <u>立命館・ヨーク大学「イギリスで学ぶクリエイティビティ」プログラム</u>		1 Semester (約4ヶ月間)
▶ <u>立命館・ワシントン大学「持続可能な社会とイノベーション」プログラム</u>	春期出発	1 Semester (約4ヶ月間)
▶ <u>立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム</u>	夏期出発 春期出発	1 Semester (約6ヶ月間)
▶ <u>立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム</u>	夏期出発	1 学年間
▶ <u>立命館・アルバータ大学「北米の言語・文化・社会」プログラム</u>		1 学年間

<上級> アドバンスト型

■ プログラムの目的

正規の学部留学、またはそれに匹敵するプログラムで、自分の専攻分野の学修を外国語で行うことを主要な目的とするプログラム。

■ 留学のタイプ

現地の正規学生と同様に、正規科目を受講し単位を取得する。単位を取得するだけでなく、卒業資格を得るものもある。高度な語学力・学力が求められる。

プログラム名	期間	
▶ ASEANで学ぶ国際PBLプログラム	夏期出発	1 Semester
▶ 交換留学	春期出発	1 学年間 (一部協定校のみ)
	夏期出発	1 Semester 可)
▶ 学部共同学位プログラム (DUDP) (2回生派遣)※	夏期出発	基本2 学年間 (2回生の8月～)
▶ アメリカン大学 (AU) ▶ サフォーク大学 (SU)		

※1回生からのDUDP参加を希望する場合は、入学前の応募手続きが必要です。
応募可能学部、条件については国際教育センターにお問い合わせください。

海外留学プログラムの紹介

自分に合ったプログラムを探す

全学募集プログラム

学部・教学機関プログラム

学外機関募集のプログラム

- ▶ 海外留学を計画する
- ▶ 海外留学プログラムの紹介
- ▶ 海外留学に向けての準備
- ▶ 留学体験記・コンテスト
- ▶ 海外留学相談・情報収集
- ▶ 保護者の皆さまへ



このページに関するご意見・お問い合わせは
立命館大学 国際教育センター

・衣笠国際教育センター
〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町
56-1
TEL : 075-465-8229

・BKC国際教育センター
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1
TEL : 077-561-3038

・OIC国際教育センター
〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150
TEL : 072-665-2070

[プライバシーポリシー](#)

[サイトポリシー](#)

[サイトマップ](#)

© Ritsumeikan Univ. All rights reserved.

04 各学部・教学機関の留学プログラム

各学部・教学機関において下記の留学プログラムが実施される予定です。詳しくは各学部・教学機関の募集要項やホームページ等を参照してください。

学部	プログラム名	派遣先国・地域・都市など	派遣先の機関・大学名等	期間
法学部	法政海外フィールドスタディ(オーストラリア国立大学)	オーストラリア	オーストラリア国立大学法学部	2月の2週間
	交換留学プログラム	中国・台湾・韓国	清華大学、人民大学、南京大学、上海交通大学、国立台湾大学、国立政治大学、中央大学校	8、9月～翌6、7月の約11ヶ月間 2、3月～12、翌1月の約11ヶ月間
	法政特殊講義(アセアン・スタディー)	マレーシア(クアラルンプール)、タイ(バンコク)、ラオス(ピエンチャン)	マレーシア・イスラム大学、タマサート大学、ラオス公共機関など	2月の10日間程度
	法政特殊講義(アメリカ法政スタディー)	アメリカ(ワシントンD.C.)	ジョージタウン大学	8月の3週間
産業社会学部	法政特殊講義(イギリス法政スタディー)	イギリス(ケンブリッジ)	ケンブリッジ大学コーバスクリスタカレッジ	8月の4週間
	「Study Abroad Program」産業社会学部英語専攻海外研修プログラム	オーストラリア(クイーンズランド州)	サザンクイーンズランド大学	8月～9月の5週間
国際関係学部	「スポーツ社会専門特殊講義」アメリカ西海岸でレジャー・スポーツビジネスの最前線を学ぶ:短期海外研修プログラム	アメリカ合衆国(カリフォルニア州)	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	8月上中旬の2週間程度
	IR-EDR206 インターンシップ(国際関係学専攻) / IR-EDR206 Internship(GS Major)	インド	国際交流基金ニューデリー日本文化センター	2月～3月の5週間程度
文学部	東アジア現地実習(中国)	中国(桂林、程陽、北京または上海)	広西師範大学	8月～9月の4週間
	東アジア現地実習(韓国)	韓国(ソウル)	高麗大学	8月下旬～9月上旬のうち2週間
	海外エリアスタディ実習:地域観光学フィールドワーク(マレーシア・シンガポール)	マレーシア・シンガポール	マレーシア科学大学(USM)	
	海外エリアスタディ実習:地域観光学フィールドワーク(台湾・台北・中国・上海)	台湾(台北)・中国(上海)	台湾師範大学文學院 他	3月上旬の2週間
	人文学特別研修(マレーシアインターンシップ)	マレーシア(ペナン)	Penang Heritage Trust	2月～3月のうち4週間
	日本語教育特別研修II(韓国 ソウル)	韓国	祥明大学校	9月の1週間
	日・韓・中連携講座	韓国(釜山)または中国(広州)	東西大学校(韓国)または広東外語外貿大学(中国)	2月の1週間程度
	海外エリアスタディ実習(ハワイ大学)	アメリカ(ハワイ州)	ハワイ大学マノア校	2月中旬～3月上旬の3週間
	海外エリアスタディ実習(トリノ大学)	イタリア(ピエモンテ州)	トリノ大学	2月の2週間程度
	考古学実習III	韓国	韓国伝統文化大学校	8月の1週間
	中国イニシエーション実習(LA)	中国	深圳大学(中国)	3月の1週間程度
	韓国イニシエーション実習(LA)	韓国	東西大学校(韓国)	夏期または春期休暇中の1週間程度
	中国イニシエーション実習(LB)	中国	広西師範大学	8月～9月の4週間
	韓国イニシエーション実習(LB)	韓国	高麗大学	8月下旬～9月上旬のうち2週間
	延世大学校人文芸術大学国語国文学科留学プログラム	韓国	延世大学校人文芸術大学国語国文学科	前期セメスター / 後期セメスター
	映像	広東外語外貿大学 特別留学	中国	広東外語外貿大学
東西大学校 短期留学プログラム		韓国	東西大学校	前期セメスター / 後期セメスター
経済学部	特殊講義(専門I)「ハリウッド映画におけるCG史」	アメリカ合衆国(カリフォルニア州)	南カリフォルニア大学、デジタルドメイン社、ソニークォーター・スタジオ、rouge mocap、Method Studio、DIGITAL DOMAIN他	2018年9月5日(水)～9月13日(木)*9日間
	海外アカデミックプログラム(短期)	オーストラリア(メルボルン)	ホーソン・メルボルン英語学校	8月～9月の5週間程度
		アメリカ(ポートランド)	ポートランド州立大学	8月～9月の3週間程度
		ニュージーランド	マッセイ大学	2月～3月の4週間程度
	海外フィールドワークプログラム(短期/タイで学ぶ地域開発とツーリズム(KKU拠点))	タイ(コンケン)	コンケン大学	8月～9月の2週間程度
	海外フィールドワークプログラム(短期/英語で学ぶアジア・中国ビジネスの最前線)	中国(上海)	上海対外経貿大学	
	海外フィールドワークプログラム(短期/マレーシアで学ぶ開発と環境(UTM拠点))	マレーシア(ジョホールバル)	マレーシア工科大学	8月下旬～9月上旬の10日間～2週間
	海外フィールドワークプログラム(短期/英国で学ぶ英語と日系団体・企業のビジネス)	イギリス(ロンドン)	フランススキング語学学校	3月の2週間程度
	海外アカデミックプログラム(長期・1学期間/大連外国語大学)	中国(旅順)	大連外国語大学	9月～翌年1月の約5ヶ月間 3月～7月の約5ヶ月間
	海外アカデミックプログラム(長期・2学期間/大連外国語大学)			9月～翌年7月の約11ヶ月間 3月～翌年1月の約11ヶ月間
理工学部	ハワイ大学留学プログラム	アメリカ(ハワイ州)	ハワイ大学	2月～3月の4週間
	海外スタディ(アジア)	ベトナム	日越大学	8月～9月の1週間～10日程度
	立命館グローバルエンジニアプログラムRitsumeikan Global Engineer Program(RGEP)	バルト3国から検討中(ラトビアを予定)	未定	2月初旬の10日間
	学部特殊講義(基礎専門)「大学院進学準備英語・海外実践英語プレゼンテーション」	台湾	国立清華大学	11月下旬～12月(3泊4日)
	専門ゼミナール	アメリカ(ハワイ州)	ハワイ大学マノア校	8月初旬～中旬の2週間
	ジェイコブス大学派遣プログラム	ドイツ	ジェイコブス大学	8月～9月の5、6週間
	インドIIT-H産学国際協働PBLプログラム	インド	インド工科大学ハイデラバード校	9月2日～12日
理工学部・生命科学部	ニッテ大学派遣プログラム	インド	ニッテ大学NMAMIT	2月1日～10日
情報理工学部	インド夏期海外IT研修プログラム	インド(ブネ)	シンピオシス国際大学	8月～9月の5週間
	クイーンズランド工科大学春期海外IT研修プログラム	オーストラリア(ブリスベン)	クイーンズランド工科大学	3月の2週間
	中国・大連交通大学短期IT研修プログラム	中国(大連)	大連交通大学	
	海外インターンシップ・プログラム	アメリカ(シアトル)	現地企業(学生により異なる)	8月～9月の4週間
		インド(ブネ)		8月～9月の5週間
		中国(大連)		
ベトナム(ハノイ)				
アメリカ・カリフォルニア大学デービス校海外IT研修プログラム	アメリカ(カリフォルニア州)	カリフォルニア大学デービス校現地企業(見学)	8月～9月の4週間	
アメリカ・ウースター工科大学海外IT研修プログラム	アメリカ(マサチューセッツ州)	ウースター工科大学	8月～9月の3週間	

学部	プログラム名	派遣先国・地域・都市など	派遣先の機関・大学名等	期間
情報理工学部	ニュージーランド・カンタベリー大学海外IT研修プログラム	ニュージーランド・クライストチャーチ	カンタベリー大学	2月～3月の5週間
生命科学部・薬学部・スポーツ健康科学部・総合心理学部	カリフォルニア大学デービス校「サイエンス&テクノロジー」プログラム	アメリカ合衆国(カリフォルニア州デービス)	カリフォルニア大学デービス校	2月～3月の4週間
薬学部	薬学海外フィールドスタディ(トロント)プログラム	カナダ(トロント)	トロント小児病院・トロント大学	2月～3月の2週間
スポーツ健康科学部	インターンシップ(海外)	アメリカ(ロサンゼルス)	EXOS	8月～9月の10日間程度
		アメリカ(ハワイ州)	ハワイ大学マノア校	8～9月の2週間程度(現在詳細未定)、2～3月の10日間程度(現在詳細未定)
		アメリカ(ニューヨーク)	LeafOff Sports Marketing	9月の1週間程度
経営学部	Business Studies AbroadI	ニュージーランド	マッセイ大学	8月～9月の4週間
		中国	蘇州大学	
	Business Studies AbroadI plus	アメリカ合衆国	カリフォルニア大学デービス校	8月～翌年1月の約6ヶ月間
		スウェーデン	ストックホルム大学ビジネススクール	
	Business Studies AbroadII(交換留学)	中国	大連外国語学院	3月～7月の約5ヶ月間
			対外経済貿易大学	9月～翌年1月の約5ヶ月間
		ニュージーランド	オークランド工科大学ビジネススクール	2月～6月の約5ヶ月間
		フランス	ストラスブール大学EMストラスブールビジネススクール	9月～12月の約4ヶ月間
			ESCEMビジネススクール・ボアティエキャンパス	
		ドイツ	プレメン州立経済工科大学	9月～翌年2月の約6ヶ月間
	タイ	アーヘン応用科学大学	8月～12月の約5ヶ月間	
	タイ	タマサート大学ビジネススクール		
	Business Studies Abroad IV(交換留学)	スウェーデン	ストックホルム大学ビジネススクール	8月～翌年6月の約11ヶ月間
			大連外国語大学	3月～翌年1月の約11ヶ月間 9月～翌年7月の約11ヶ月間
		中国	対外経済貿易大学	3月～翌年1月の約11ヶ月間 3月～翌年7月の約17ヶ月間 9月～翌年7月の約11ヶ月間
ニュージーランド			オークランド工科大学ビジネススクール	2月～11月の約10ヶ月間
フランス		ストラスブール大学	9月～翌年5月の約9ヶ月間	
		ESCEMビジネススクール・ボアティエキャンパス ESCEMビジネススクール・トゥールキャンパス		
ドイツ		プレメン州立経済工科大学	9月～翌年7月の約11ヶ月間	
タイ		アーヘン応用科学大学	8月～翌年5月の約10ヶ月間	
タイ		タマサート大学ビジネススクール		
Business Studies Abroad IV(派遣型)		イギリス	レディング大学	8月～翌年3月の約8ヶ月間
海外テクニカルビジット(シリコンバレー)	アメリカ	シリコンバレー	8月～9月の10日間	
政策科学部	グローバル/ローカル・オンサイト演習I・II「台湾PJ」	台北、高尾	台湾大学、台北大学、高尾大学	8月～9月の2週間程度
	グローバル/ローカル・オンサイト演習I・II「日韓相互理解」	韓国(釜山広域市、ソウル市)	韓国海洋大学校、淑明女子大学	
	グローバル/ローカル・オンサイト演習I・II「タイ」	タイ王国(バンコク)	タマサート大学他	
	グローバル/ローカル・オンサイト演習I・II「オレゴンPJ」	オレゴン州ポートランド	オレゴン大学、ポートランド州立大学	
	グローバル/ローカル・オンサイト演習I・II「イタリア」	イタリア(ミラノ・シチリア)	ミラノ・ビコッカ大学、ベルガモ大学、カタニア大学	
	東北財経大学との学生交換プログラム	中国(大連市)	東北財経大学	春期出発(1セメスター～1学年) 夏期出発(1セメスター～1学年)
	北京理工大学との学生交換プログラム	中国(北京市)	北京理工大学	
	国民大学校との学生交換プログラム	韓国(ソウル)	国民大学校	
	韓国海洋大学校との学生交換プログラム	韓国(釜山広域市)	韓国海洋大学校	
	マヒドン大学との学生交換プログラム	タイ王国(ナコンパトム県)	マヒドン大学	
東北財経大学への派遣プログラム	中国(大連市)	東北財経大学国際漢語文化学院	8月2週間程度	
共通教育課	国際平和交流セミナー(中国)	中国(北京市、大連市、徐州市、青島市)	北京外国語大学	9月の10日間
	国際平和交流セミナー(韓国)	韓国(釜山市、ソウル市)	東亜大学、光云大学	9月の7～10日間
	シチズンシップスタディーズI(ネパール)	ネパール(カトマンズ)	NPO法人シャブラニール	9月の10日間

※上記プログラムは、変更になる場合があります。募集人数、出願資格、応募方法、奨学金等の詳細は、各プログラムの募集要項や当該プログラムを実施する各学部・教学機関窓口で確認してください。
 ※研究科で実施されるプログラムは、P56を参照してください。

■参考 単位授与・単位認定を伴わない海外留学・海外実習

学部	プログラム名	派遣先国(派遣地域・都市など)	派遣先(受入先)の機関・大学名等	期間
情報理工学部	アメリカ・ロサンゼルス&シリコンバレー海外IT体感プログラム	アメリカ(カリフォルニア州)	南カリフォルニア大学 現地企業(見学)	8月～9月の2週間
スポーツ健康科学部	グローバル・アスレティック・トレーナー(GAT)プログラム	アメリカ(ペンシルベニア州イースト・ストラウスバーク)	イースト・ストラウスバーク大学	4回生(※)の夏期～2年間程度(最短)※卒業後の参加も可
共通教育課	国際社会で活躍する人材養成特別プログラム(2017年度ケニア)	ケニア(2017年度) ※派遣先は、年度によって変わる	ケニア国立博物館など(2017年度) ※派遣先は、年度によって変わる	夏期休暇または春期休暇中に、2週間程度
孔子学院	孔子学院 留学奨学金制度	中国	北京大学、同済大学、その他大学 ※申請者の希望による	2セメコース:9月～翌年7月の11ヶ月間 1セメコース:9月～翌年1月の5ヶ月間

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類 資料」37 ページから 38 ページ

2. 出典

立命館大学 文学部 進路・就職

3. 引用範囲

<http://www.ritsumeai.ac.jp/lt/recruit/> (「卒業生の声」)

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類 資料」39 ページから 47 ページ

2. 出典

独立行政法人日本学生支援機構 ホームページ

平成 29 年度外国人留学生在籍状況調査結果

3. 引用範囲

https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/2017/ (全文)

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類 資料」48 ページから 53 ページ

2. 出典

一般社団法人 日本経済団体連合会 ホームページ

2018 年度 新卒採用に関するアンケート調査結果

3. 引用範囲

<https://www.keidanren.or.jp/policy/2018/110.pdf> (全文)

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類 資料」54 ページから 80 ページ

2. 出典

文化庁 報道発表

「平成 28 年度「国語に関する世論調査」の結果の概要」

3. 引用範囲

http://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/__icsFiles/afieldfile/2017/09/22/2017092102_besshi.pdf (全文)

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類 資料」81 ページから 114 ページ

2. 出典

文化庁文化部国語科

「平成 29 年度 国内の日本語教育の概要」

3. 引用範囲

http://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/nihongokyoiku_jittai/h29/pdf/r1396874_01.pdf (表紙から 17 ページ)

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類 資料」115 ページから 122 ページ

2. 出典

文部科学省 外国語教育

「平成 29 年度 英語教育実施状況調査（中学校）の結果」

3. 引用範囲

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2018/04/06/1403469_03.pdf (全文)

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類 資料」123 ページから 132 ページ

2. 出典

文部科学省 外国語教育

平成 29 年度 英語教育実施状況調査（高等学校）の結果

3. 引用範囲

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2018/04/06/1403469_02.pdf（全文）